

SALON

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール情報誌 Vol.157 2025年 7月号

THE PHOENIX HALL

CONTENTS

- 01 Prime Interview **荒木奏美**
- 03 Phoenix Presents 「ピアノ三重奏の歴史」vol.3
福田進一 ～70歳記念～ クリスマスイヴ・コンサート
2025年度 ティータイムコンサート（後期）
- 05 Pick Up 開館30周年お祝いメッセージ ほか
- 07 Essay ショスタコーヴィチの“沼”へようこそ！—多面的で底知れぬ深み



Prime Interview

荒木奏美

「聴いてくださる方が、『この曲とオーボエとの相性が良かった』と感じたり、単純に『オーボエだと、こんな表現ができるのか』と知ったり、色々な楽しみ方をしていただければ、嬉しいですね」。11月のティータイムコンサートで、ザ・フェニックスホールに初登場する荒木奏美は語る。読売日本交響楽団の首席奏者を務め、ソリストとしても大活躍する、いま話題のオーボエの名手だ。聴く者の心を震わせる、しなやかに紡がれる美しい音色と、音符ひとつ一つに生命を授けてゆく豊かな音楽性。プログラムは、「歌」をキーワードとして、各曲が緩やかに結び付けられている。「お客様それぞれに、自分の心の中の言葉を見つけていただきたい。言葉がないからこそ、自由に言葉を当てはめてゆける…こんな音楽体験もきっとあるはず。その“音を出す側”に、自分がなってみたいと願っています」。

(寺西肇 音楽ジャーナリスト)

Kanami Araki

「耳にした音楽が気に入って、その楽器が『たまたまオーボエだった』と思っていただけるような奏者になりたい。もちろん、この楽器の表現方法や音色が自分には合っていて、確かに好きなんですけど、あくまでツールとして扱って、“オーボエが先に来ない”奏者になりたいんです。例えば、ヴァイオリンやピアノ、歌手ができることを、自分もどんどんやってみたいと考えています」

そんな思いは、今回のリサイタルの選曲にも反映されている。「ザ・フェニックスホールには、初めてお邪魔するのですが、お客さま全員の顔が見えるような配置になっていて、きっと対話のような関係性も創れるし、自分の内面に入っていきような作品でも、逆にブリリアントな曲でも、受け止めてもらえるはずだと感じたので、その前提で、プログラミングを始めました。感情が往ったり来たりしても、きっと大丈夫。できるだけカラフルに、と…」。

幕開けは、モーツァルトのコンサート・アリア。ソプラノ独唱のために書かれた、コロラトゥーラの技巧が凝らされた難曲を、オーボエで吹きこなす。「いかにもモーツァルト的な雰囲気だし、オーボエの音域やキャラクターにも合っています。逆に『オーボエだからこそできる表現』があるとも考えました」。こうした歌詞が付けられている作品から、学び取るころは大きいという。

「音符しか書いてない楽譜より、歌詞がついたものってすごく情報が多い。実は、言葉の意味で音色に変化をつけたり、聴きとった発音を覚えて真似するということは、普段の練習でも採り入れています。そうすることで楽器の発音の種類が増えて、フレーズの切り方ひとつでも、分かって来る。モーツァルトにはオーボエのための協奏曲や四重奏曲はありますが、『歌詞がある作品から、モーツァルトを学びたい』『言葉と一緒にオーボエを吹きたい』という思いが常にあります」

“声”との関係性について、さらに彼女は言葉を重ねる。「オーボエは息を使う楽器なので、歌手の方の呼吸法だったり、上半身の使い方や支え方だったり、そのあたりもすごく参考にしています。動画サイトで歌のマスタークラスを観て、試してみたりとか…自分が歌うのは全然、上手くないんですけど、こう



着いた内容の曲で、ここまでの流れを崩さないようにしました」。

演奏家にいかにも相応しい、「奏美」という名前。両親が余程の音楽好きだったと思いきや、「画数と末広がり」の字で決めたらしいんです。確かに、苗字も含めて、4文字が下向けに広がっています(笑)。ただ、『絶対に変な音は出せない』と、名前からのプレッシャーはすごくて…(笑)」。小学校で入った吹奏楽部。最初はサクソ志望だったという。しかし、指導した教諭からの勧めで、9歳の時にオーボエに出逢った。

「オーボエの音色の第一印象は、『はるか遠くまで飛んで行く、ピンで刺したような、とても細い光』。練習するとどンドンでできることが増えてゆくので、当時は楽器を操ること自体が楽しかった。始めて2週間ほどは、全く音も出せなかったけど、その難しさがちょうど私の性格と合っていたのかも…」。実は1学年上には、今や日本きってのサクソの名手である上野耕平もいた。「彼も、最初はトランペット志望でしたが…(笑)。同じコンクールに出場するなど、互いに切磋琢磨していました」。

今後、力を入れてゆきたいレパートリーは？「まずは、現代の作品ですね。現在も取り組んではいますが、自分が常に(ステージに)突っ立って吹くという形も、いちど“解放”して、自分の体をもっと使うなり、もう少し視覚的な効果を探り入れたり、奏法を増やしたり、エレクトロニクスを使ったり、新作を書いてもらったり…チャレンジする機会を作りたい。そして逆に、もう少しバロックの作品も勉強したい。今に近い方向と、遠い方向。両翼を広げたい気持ちがあります」。

演奏の上で心掛けているのは「空間を把握すること」だという。「自分がやりたいことがあろうが、空間や雰囲気が悪くなる形にはしたくなくて、そこに自然にいるような立ち位置でいたいと常に考えています」。では、そんなあなたにとって、音楽とは？「世界をより高い解像度で映し出してくれるフィルターのようなもの、という風に感じていますね。自分の心や日常、人や情勢など全てが音楽を通して鮮明に見えたり映し出すことが出来る。そんな感覚です」。素敵な笑顔を見せた。

したことがオーボエと言うツールでできるなら、ぜひやりたいなと思っています」。

そして、メンデルスゾーン、クララ・シューマンと、理屈抜きで魅力的な旋律に満ちた“言葉を持たない歌”を続けてゆく。「弦楽器やピアノはよく聴くけど、オーボエはあまり…という方もいらっしゃると思って、ステージの前半は、オーボエの作品ということにこだわらず、『ドイツやオーストリアの、良くご存知な作曲家の曲をオーボエで演奏すると、こんな景色にもなりますよ』という感覚で、愉しんでいただけるようにと考えました」。

後半は、フランスゆかりの作品を集めて。まずは、ラヴェルのヴァイオリン曲「ハバネラ形式の小品」と、ドビュッシーの歌曲「美しい夕暮れ」を披露。そして、オーボエのためのオリジナル作品で、エスプリや洗練性など多面的な魅力が詰まった、ピエール・ド・ブレイヴィエの知られざる佳品「ソナチネ」を取り上げる。「ブレイヴィエはドビュッシーの1歳上の作曲家で、フランクのお弟子さん。皆さんには馴染みが薄い作品かもしれませんが、先の2曲から良い流れになると考えました」。

ステージの締め括りは、“オーボエ界のパガニーニ”と称された名手、アントニオ・パスクリの、ヴェルディの歌劇「シチリア島の夕べの祈り」の主題による大協奏曲。「パスクリ自身はイタリア人ですが、基になったオペラがフランス語で書かれているんです。この作曲家は幾度か取り上げましたが、少し渋い目のアリアを使って技巧を出してゆくという、この曲だけは難しくて、実は避けてて…(笑)。でも、華やかに振れ過ぎるより、音楽的に落ち

荒木奏美(あらかし・かなみ／オーボエ) 東京藝術大学在学中の21歳でオーディションに合格、2023年3月まで東京交響楽団の首席をつとめ、現在は読売日本交響楽団首席オーボエ奏者。国内の数々のコンクールで入賞を重ね、第11回国際オーボエコンクール・軽井沢では日本そしてアジア勢で史上初となる第1位(大賀賞)、併せて聴衆賞を受賞した。第27回出光音楽賞受賞。新進気鋭のアンサンブル集団“Ensemble FOVE”、反田恭平率いる“Japan National Orchestra”コアメンバー。ソリストとしては東京交響楽団、東京都交響楽団などと協演。デビューリサイタルを東京・春・音楽祭で行い、オペラシティB→Cシリーズや各音楽祭への参加、現代音楽、新作の初演、「鬼滅の刃」はじめ劇伴演奏など、各地で幅広く活動を展開している。オーボエの巨匠との共演も多く、ハインツ・ホリガーに認められオーボエトリオで日本ツアー公演に出演する他、モーリス・プルグ、ハンス・エルク・シェレンベルガー両氏と共演。メディア「題名のない音楽会」「リサイタル・ノヴァ」「エンター・ザ・ミュージック」出演。茨城県出身で、東海村を愛する研究所研究員(PR大使)。東京藝術大学を首席卒業、その後同院修士課程修了。

今後の出演公演

ティータイムコンサートシリーズ178 荒木奏美 オーボエリサイタル
2025年11月28日(金)14:00開演 指定席 ＊お菓子付き
一般3,500円 友の会会員3,150円 学生(25歳以下)1,000円
■出演 荒木奏美(オーボエ)、津田裕也(ピアノ)
■曲目 モーツァルト:アリア「ああ、情け深い星たちよ、もし天にいて」JK538
メンデルスゾーン:無言歌集より 抜粋
ブレイヴィエ:オーボエとピアノのためのソナチネ ほか
＜チケットのお求め、お問い合わせ＞
ザ・フェニックスホールチケットセンター
06-6363-7999(平日10:00～17:00、土日祝休)

2025 レクチャーコンサートシリーズ36

12/20土 「ピアノ三重奏の歴史」vol.3 追悼するロシア:悲喜交々のピアノ三重奏曲

15:00開演 指定席

一般 ¥4,000(友の会会員¥3,600) 学生(25歳以下) ¥1,500

追悼音楽でありながら、対照的な性格を持つ両作品。

親友を亡くした2人の作曲家が、その現実をどのように消化しようとしたのか、音楽の中から読み解く。

■出演 郷古廉(ヴァイオリン)、水野優也(チェロ)、水谷友彦(ピアノ)、松井拓史(レクチャー)

■曲目 チャイコフスキー:ピアノ三重奏曲 op.50 ショスタコーヴィチ:ピアノ三重奏曲 第2番 op.67



2025 共同主催 株式会社AMATI×あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

12/24水 福田進一〜70歳記念〜クリスマスイヴ・コンサート

18:00開演 指定席

一般 ¥5,000(友の会会員¥4,500) 学生(25歳以下) ¥2,000

70年の歴史を、盟友と共に紡ぐ一夜限りのスペシャル・コンサート

■出演
福田進一(ギター)、工藤重典(フルート)

■曲目

【ギターソロ】

坂本龍一(佐藤弘和編): Merry Christmas Mr.Lawrence
 ブローウェル: 悲歌〜イン・メモリアム・タケミツ(1996/福田進一に献呈)
 武満徹: フォリオス(1974)
 武満徹(鈴木大介編): 波の盆(1983)
 国枝春恵: 委嘱新作初演(2025/福田進一の古希を記念して)

【アルト・フルート & ギター】

武満徹: 海へ

【フルート & ギター】

ピアノ: カフェ1930 & ナイトクラブ 1960〜タンゴの歴史より
 瀧廉太郎(野平多美編): 荒城の月
 シャンカール: トディ〜魅惑の夜明け

ザ・フェニックスホール
友の会先行予約2025 7/12土 10:00 受付開始
*お一人様2枚まで

一般発売

2025 7/18金 10:00 受付開始

*発売日初日は、電話予約のみのお申込みとなります
 *インターネット予約によるお申込みは7/22(火)から

お待ちしております! 後半3公演の1回券を発売します!

2025年度 ティータイムコンサートシリーズ 後期1回券の発売

モロゾフ
のお菓子付2025
11/28金

まさに天上の音色、大注目のオーボエ奏者

荒木奏美 オーボエリサイタル

14:00開演
指定席一般 3,500円(友の会会員3,150円)
学生(25歳以下) 1,000円

■出演 荒木奏美(オーボエ)、津田裕也(ピアノ)

■曲目

モーツァルト: アリア「ああ、情け深い星たちよ、もし天にいて」K538
 メンデルスゾーン: 無言歌集より 抜粋
 クララ・シューマン: 3つのロマンス op.22
 ラヴェル: ハバネラ形式の小品
 ドビュッシー: 美しき夕暮れ
 プレヴィーユ: オーボエとピアノの為のソナチネ
 バスクリ: ヴェルディ「シチリア島の夕べの祈り」の主題による大協奏曲

2026
1/22木 柔らかな響きに包まれて新倉瞳&大萩康司
チェロとギターの調べ14:00開演
指定席一般 4,000円(友の会会員3,600円)
学生(25歳以下) 1,000円

■出演 新倉瞳(チェロ)、大萩康司(ギター)

■曲目

ヘンデル: オンブラ・マイ・フ
 ピアソラ: オブリビオン
 ヴィラ=ロボス: ブラジル風パッサ 第5番より アリア
 J.S.パッサ: 無伴奏チェロ組曲 第1番より(新倉ソロ)
 ヴィラ=ロボス: 5つの前奏曲より 第3番「パッサへの讃歌」(大萩ソロ)
 クレズマー伝承曲
 シューベルト: アルペジオーネソナタ イ短調 D821

2026
2/27金

関西出身、ピアニトリオ最高峰

葵トリオ

14:00開演
指定席一般 4,000円(友の会会員3,600円)
学生(25歳以下) 1,000円

■出演

小川響子(ヴァイオリン)、伊東裕(チェロ)、秋元孝介(ピアノ)

■曲目

ブラームス: ピアノ三重奏曲 第3番 ハ短調 op.101 ほか

チケットのご予約、窓口でのご購入

ザ・フェニックスホール チケットセンター
(あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8階)

TEL 06-6363-7999

営業時間: 10:00~17:00 休業日: 土・日・祝日

*土曜日が発売日の場合は、電話受付のみの営業となります。

ご予約後の手続き



ご来店でお引き取り

10日以内にご来店ください。
 窓口では、キャッシュレス決済にご協力をお願いいたします。

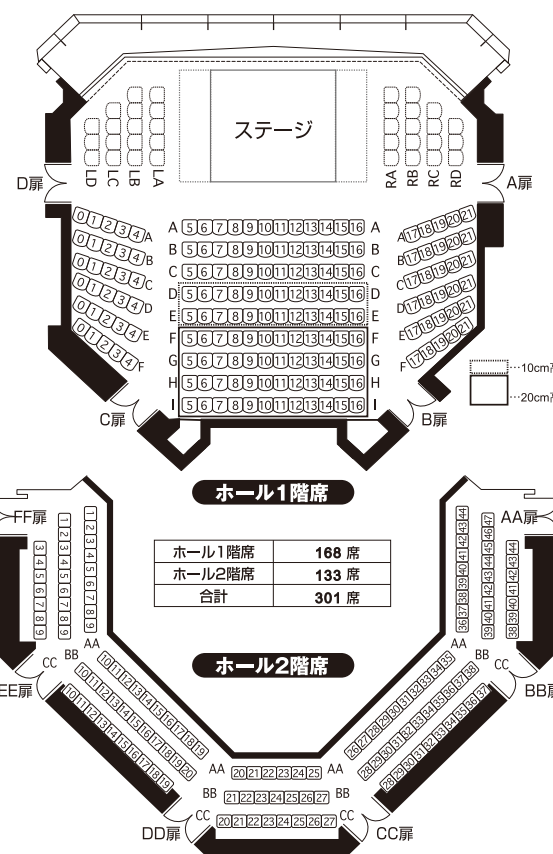


郵便局よりお振り込み

ご予約後、10日以内にお振込みください。

ご入金確認後、2週間程度でご自宅へお届け。
 簡易書留で発送 送料470円と振込手数料はお客様ご負担となります。

口座番号 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール





あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール 開館30周年お祝いメッセージ

The Phoenix Hall・30th Anniversary
30th



福田進一(ギター)

開館30周年、おめでとうございます。

およそ半世紀前、私が青年期までを過ごした大阪の街は、本格的なクラシック演奏会場が非常に少なく、あっても極端に大きいか、あるいは小さくてデッドなスペースしか選べない状況でした。その困難は海外留学から帰国し、演奏活動を始めた90年代にも続いていたのですが、そのなかでのザ・フェニックスホールの登場は、クラシック、特に室内楽分野の発展に大きな希望の火を灯したのです。

小ホールながら、2階席を備えた広々とした空間、昇降するステージ、なによりも背面をガラスにすれば夜の梅新が広がるというユニークな設計。そして、透明かつ豊かな音響。今も全国各地のコンサートホールを巡りますが、これほど考えられたホールには出会いません。お客様との親密な距離感も含め、繊細なクラシックギターにとって最高の音楽空間と言えるでしょう。

今年で第14回を迎える「大阪ギターサマー」は、ザ・フェニックスホールという理想的な器のなかで育まれてきたイベントです。

ここにスタッフの皆様への感謝と共に、これからの御発展を心からお祈りいたします。

<出演情報> 8月30日(土)・31日(日)Osaka Guitar Summer 2025 | 12月24日(水)福田進一 クリスマスイヴ・コンサート

辻本玲(チェロ)

ザ・フェニックスホール開館30周年、おめでとうございます！

2006年にエヴォリューション・シリーズに出演させていただいて以来のご縁で、ここ10年余りは毎年、チェロ4本のクアルテット・エクスプローチェと私のリサイタルを開催させていただいております。

心からお祝いと感謝の気持ちでいっぱいです。

その土地の音楽の発展にはホールという存在は必要不可欠です。素晴らしい音響で私たちの演奏を後押ししてくれるホール、そしてみなさんが音楽に身をゆだねることができるホール。それらが揃う事で初めて音楽の発展があります。ザ・フェニックスホールは、大阪そして関西を代表するホールとして、クラシック音楽の発展に大きく貢献されてきました。

音響の素晴らしいさはもちろん、演奏する側もお客様も音楽に吸い込まれそうになるザ・フェニックスホールの特有な空気感も素晴らしいものがあります。

これからも関西の音楽シーンを引っ張って頂き、素晴らしい音楽をたくさん届けて頂きたいと思います。

おめでとうございます！

<出演情報> 10月7日(火)Quartet Exploce 2025 tour | 11月26日(水)辻本玲チェロ・リサイタル 2025

10月
より

ホールのヤマハピアノが CFXに変わります！



3台から選定(ヤマハ掛川工場にて)



渡邊規久雄音楽アドヴァイザー選定の様子



このピアノに決まりました！

世界のコンサートホールや国際コンクールでも活躍するヤマハのコンサートグランドピアノ/CFXが登場します！新モデルは熟練の技術者たちが結集し、内部の各パーツや工程の刷新が行われ、多くのピアニストから様々な意見を参考に開発されました。外装面も両サイドにロゴの配置や、譜面台は自然な音が感じられるように孔あき譜面板が採用されるなど、アップデートされています。ホール音楽アドヴァイザー渡邊規久雄氏が選定を行いました。指の吸いつきが良く、表情豊かな音色で音の抜け感が良いピアノです。ぜひ、ホールで新しい響きを体感ください！

schedule

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内

公演により割引枚数などに制限があります。ご購入時にお問合わせください。



詳細は公演チラシか
ホールホームページで
ご確認ください。

2025
8/21 木
ドイツからの夏の風
サクソフォン、
弦楽器とピアノによる室内楽の夕べ

■出演
安泰旭(サクソフォン)、勝又 モネ
ガット 友理、岡谷恵光(ヴァイオリ
ン)、東条慧(ヴィオラ)、ギリヤ
ルメ・ナルデッリ=モネガット
(チェロ)、守重結加(ピアノ)

■曲目
プロコフィエフ:ロミオとジュリ
エットより(六重奏版) ほか

18:30開演
自由席
前売 ¥4,000(友の会会員¥3,500)
学生(18歳以下) ¥2,000
当日 各¥500増

協賛公演 主催 アンサンブル・ブレッツェル 発売中

2025
10/5 日
THE VIOLIN SONATA SERIES
5人のマエストロ×多川響子 第6回

■出演 驚見恵理子(ヴァイオリン)、多川響子(ピアノ)

■曲目
ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ 第7番 ハ短調 op.30-2
フォーレ:ヴァイオリンソナタ 第1番 イ長調 op.13 ほか

14:00開演
自由席
前売 ¥4,000(友の会会員¥3,600)
当日 ¥4,500(友の会会員¥4,000)
学生前売 ¥2,000 当日 ¥2,500

協賛公演 主催 Office TAGAWA 発売中

2025
10/7 火
Quartet Exploce 2025 tour

■出演 市寛也、高木慶太、辻本玲、森山涼介(チェロ)

■曲目 J.S.バッハ:シャコンヌ
ピアノ:アエノスアイレスの四季 ほか

19:00開演
指定席
前売 ¥4,000(友の会会員¥3,600)
当日 ¥4,500(友の会会員¥4,050)
学生前売 ¥1,500 当日 ¥2,000

協賛公演 主催 Quartet Exploce 発売中

2025
10/16 木
"KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka"
坂本 彩・坂本リサ (ピアノ連弾)

■出演
坂本彩・坂本リサ(ピアノ)

■曲目 シューベルト:
アレグロ イ短調『人生
の嵐』op.144, D947、ブ
ラームス:シューマンの
主題による変奏曲
op.23、ハンガリー舞曲
集 第4巻(第17番～第
21番)

19:00開演
指定席
前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500)
※友の会割引は前売のみ。限定数。

協賛公演 主催 コジマ・コンサートマネジメント 発売中

2025
10/19 日
藤原道山
25th Anniversary Concert「選」

■出演
藤原道山(尺八)
Keiko(ピアノ)

■曲目
ビリー・ジョエル:ピアノ・マン、吉田正:いつ
でも夢を、米山正夫:リ
ンゴ追分、藤原道山:東
風、おかえり ほか

14:00開演
指定席
前売 ¥5,000(友の会会員¥4,500)
当日 ¥5,500(友の会会員¥4,950)

協賛公演 主催 株式会社DO 発売中

2025
10/24 金
JAFSチャリティコンサート
瀬田敦子
演奏50周年記念ピアノリサイタル

■出演 瀬田敦子(ピアノ)、チンナワット・テム
クムクン(ギター)、カ
オ・ホン・リン(ヴァイオリ
ン)、小倉裕貴(ピアノ)、
デュオ・スケルツォ
中尾恵、松尾美保(ピ
アノデュオ)、企画制作
監修:谷本裕
■曲目
ヒナステラ:アルゼンチ
ン舞曲集 op.2 ほか

18:00開演
自由席
前売 ¥3,000(友の会会員¥2,400)
当日 ¥4,000(友の会会員¥3,200)

協賛公演 主催 公益社団法人
アジア協会アジア友の会 7/10(木)発売

2025
10/26 日
三浦一馬バンドネオン・シネマ
ーチャールズ・チャップリン特集ー

■出演 三浦一馬(バンドネオン)、西江辰郎、谷本華子
(ヴァイオリン)、神原玲奈(ヴィオラ)、細谷公三香(チェ
ロ)、奥田敏康(コントラバス)、長富彩(ピアノ)

■曲目 チャールズ・チャップリン: Smile (映画「モダン・タイムス」) ほか

【昼の部】13:00
【夜の部】16:00
指定席
前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500)

協賛公演 主催 合同会社Moon 調整中

2025
10/30 木
ただ一言「平和」を祈るコンサート
ワンワード・ピース・コンサート
奈良ゆみ・ソプラリサイタル
〜ユートピアに向けて〜

■出演
奈良ゆみ(ソプラノ)
寺嶋陸也(ピアノ)

■曲目
ダオ:ジオ・ドン
ブーランク:セー
吉田隆子:君死にたま
ふことなかれ ほか

19:00開演
自由席
前売 ¥5,000(友の会会員¥4,500)
当日 ¥5,500(友の会会員¥5,000)

協賛公演 主催 ワンワード・ピース・コンサート
実行委員会 7/18(金)発売

2025
11/1 土
沖 仁 フラメンコギター独奏
SOLITO+[PLUS]

■出演 沖仁(フラメンコ
ギター)、ゲスト:【昼】閑喜
弦介(ギター)、【夜】鈴木
大介(クラシックギター)

■曲目 J.S.バッハ:目覚
めよと、われらに呼ばれる
物見らの声 BWV140、パ
コ・デルシア:二筋の川、
沖仁:Fantasma VIII ほか

【昼】13:30
【夜】18:30
指定席
前売 ¥5,500(友の会会員¥5,000)
当日 ¥6,000(友の会会員¥5,400)

協賛公演 主催 ジンズ・アクション 7/4(金)発売

2025
11/2 日
"KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka"
山根一仁
J.S.バッハ 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ
&パルティータ全曲演奏会

■出演
山根一仁
(ヴァイオリン)

■曲目
J.S.バッハ:無伴奏ヴァ
イオリンのためのソナ
タ&パルティータ全曲

16:00開演
指定席
前売 ¥5,500(友の会会員¥4,900)
※友の会割引は前売のみ。限定数。

協賛公演 主催 コジマ・コンサートマネジメント 発売中

2025
11/26 水
辻本 玲
チェロ・リサイタル 2025

■出演
辻本玲(チェロ)
沼沢淑音(ピアノ)

■曲目
ラフマニノフ:チェロソ
ナタ 短調 op.19
プロコフィエフ:チェロ
ソナタ 長調 op.119 ほか

19:00開演
指定席
前売 ¥4,000(友の会会員¥3,600)
当日 ¥4,500(友の会会員¥4,050)
学生前売 ¥1,500 当日 ¥2,000

協賛公演 主催 フィーレ企画 発売中

2025
12/10 水
"KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka"
"ザ・ピアノカルテット・セレクションズ"

■出演 松浦奈々(ヴァイオリン)、小峰航一(ヴィオラ)
北口大輔(チェロ)、西岡沙樹(ピアノ)

■曲目
フォーレ:ピアノ四重奏曲 第2番 ト短調 op.45
ブラームス:ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 op.25

19:00開演
指定席
前売・当日 ¥6,000(友の会会員¥5,400)
※友の会割引は前売のみ。限定数。

協賛公演 主催 コジマ・コンサートマネジメント 発売中

ショスタコーヴィチの“沼”へようこそ！

—多面的で底知れぬ深み

ドミートリー・ショスタコーヴィチ(1906-1975)。「20世紀ソヴィエトを代表する大作曲家」と何の保留もなく説明できるようになったのは、そんなに昔のことではない。今年が没後50年。当時の世界情勢を知る人もまだ少なくない年数だが、その間の彼に関する言説や評価は幾度も変遷してきた。時代は近いのに、ナゾの多い作曲家なのだ。

もちろん、ソヴィエト連邦という社会主義の超大国に留まり、東西冷戦時代の「鉄のカーテン」の中にいたこと、没後に様々な資料や書籍などが出て人物像が揺れ動いたことも大きい。だが、そのナゾを生み出す最大の理由は、その音楽が、なんと「裏がありそう、何か言いたげ」な表情をもっていることではないだろうか。筆者はまんまとそれにハマってしまったひとりである。

政治体制に翻弄された生涯と“裏がありそう”な音楽を対照する謎解きの興味から入った面もあるが、すぐに音楽自体の底知れぬ深みと不思議な雰囲気のとりにこになった。交響曲の巨大な世界観、極端なまでの轟音と弱音の対比に夢中になり、その後より内面がにじみ出たような弦楽四重奏曲など小編成作品の世界にも惹かれていった。

振り返ると、1980年代にマーラーが大流行した頃から、“ポスト・マーラー候補”としてショスタコーヴィチの名前が挙がる機会が増えたが、きれいなようで屈折したメロディ、苦みとクセのあるハーモニー、ときに見せる尖鋭的な苛烈さ、抒情的な場面まで不気味に感じる……といったことから拒否感を示す聴き手も以前は少なくなかった。20世紀中は需要の範囲はマニア向けという感もあったが、21世紀に入って演奏機会が増え始めた。2006年の生誕100年という大きな節目もあり、先に列記した特徴の数々が多くの人の心にとって魅力に転じた

のか、いまや各オーケストラでショスタコーヴィチ作品のないシーズンは考えられないほどの定番レパートリーになっている。

今年2025年は没後50年のアニバーサリーを迎え、例年以上に彼の作品が各地で演奏されている。ザ・フェニックスホールでは、N響第1コンサートマスターの郷古廉が、11月15日にピアノ小曲集「24の前奏曲」のヴァイオリン編曲版とヴァイオリン・ソナタ、12月20日にはピアノ三重奏曲第2番を取り上げる。

なかでも、ヴァイオリン・ソナタは晩年の深遠な境地と衰える体調の不安が反映された、この作曲家の作品中でも殊にコアで辛い楽曲。何気なく聴いて楽しめるタイプの音楽ではないかもしれないが、いきなり沼の奥底を覗いて一発でハマることもある。第1楽章の思わせぶりの静けさから、強靱な音響が炸裂する第2楽章に入った瞬間、未体験の境地が見えてくるかもしれない。

ピアノ三重奏曲第2番は、20世紀全体の室内楽曲の中でも屈指の傑作。亡くなった親友の追悼のために書かれた、旋律的で変化に富んだ音楽で、作曲者のヒューマンな一面にも触れられる。なお、大切な人の死への哀悼としてピアノ・トリオを書くのは、チャイコフスキー以来のロシア作曲家の伝統。この公演はその元祖チャイコフスキーの大作「偉大な芸術家の思い出に」との組み合わせで、伝統が生んだ2名作を体験できる好機ともなる。

ちなみに、ショスタコーヴィチの交響曲と弦楽四重奏曲はいずれも15曲ずつ。それぞれが際立った個性を持ち、聴く人に何らかの感銘を与える両ジャンル計30曲。これまで愛好してきた人はもちろんのこと、なんだか気になってきたかも……という方はぜひともチャレンジを。とんでもなく深い“沼”がお待ちしておりますよ……！



林昌英(はやし・まさひで) 音楽ライター

出版社勤務を経て、音楽誌制作と執筆に携わり、現在はフリーライターとして活動。「ぶらあば」等の音楽誌、コンサートプログラム等に記事を寄稿。オーケストラと室内楽(主に弦楽四重奏)を中心に執筆・取材を重ねる。40代で桐朋学園大学カレッジ・ディプロマ・コース音楽学専攻に学び、2020年修了、研究テーマはショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲。アマチュア弦楽器奏者として、ショスタコーヴィチの交響曲と弦楽四重奏曲の両全曲演奏を達成。



発行年月 2025年7月
発行 あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール
編集 谷 昌則
デザイン 松井桂三有限会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4丁目15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211